

サテライト 小論文対策特別文化講演会

私たちの生活する地球環境は今どんな問題を抱えているか。私たちが社会生活を営むなかで少数民族の人権や文化をどのように捉えているのか。

秋のひと時、小論文入試のテーマとしての出題頻度も高い、これら「環境」と「人権・差別」の2つの問題についてじっくり考えてみよう。

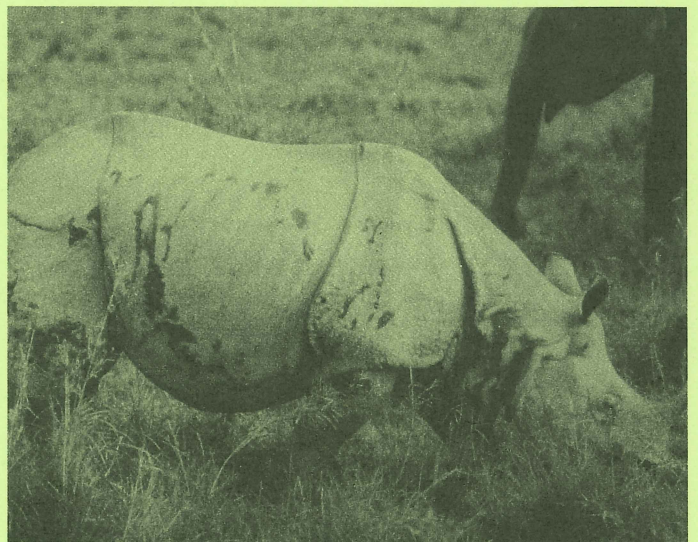
11月22日(木) 17:00~19:00

『環境問題の捉え方』

かつて「公害」と騒がれた頃は、どちらかといえば公害そのものが特定の地域や企業、あるいは一国家内の問題として扱われるケースが多かった。ところが、近年は地球温暖化や酸性雨、オゾン層の破壊、熱帯林の減少といった地球環境全体に影響を及ぼす問題として提示されている。これらの環境変化のスピードは、地球誕生以来、数万年のオーダーで変化するような内容をほんの数十年で変えてしまうような急速な環境変化である。

この講演会では、独自の視点で研究・実践をしている講師を招き、個別に起きている様々な環境問題が地球環境全体にどのような影響を与えているのかといったメカニズムと、解決の方向性を探っていく。

講 師……………溝口俊夫 (福島県民の森チーフレンジャー、獣医師)
山田伸吾 (河合塾小論文講師)
坂本紘二 (九州大学工学部助手)
河田昌東 (名古屋大学教養部助手)



11月24日(土) 13:00~15:00

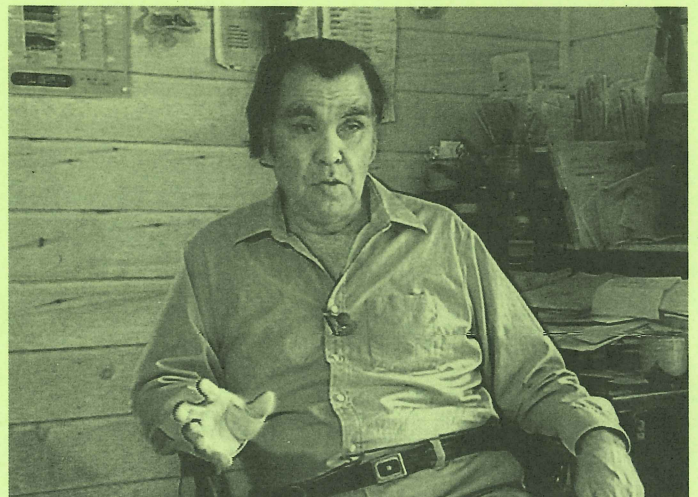
『人権・差別を考える』

日本は明らかに「複数民族国家」でありながら、中曽根元首相をはじめ多くの官僚・閣僚をして「単一民族国家」のごとく語らせる背景には、いったい何があるのか。

人権問題や差別の構造を考えることは、まずどんな事実と歴史があるのかを客観的に理解・把握することが出発点となる。

この講演会ではアイヌ、沖縄、在日韓国・朝鮮人といった明らかに異なる文化を有する人々の生活や生きざまを取材しながら、少数民族の歴史、異文化理解、そして私たちをとりまくもっと身近でふだん見過ごしてしまっている人権・差別の構造を考えていく。

講 師……………菅 孝行 (河合塾小論文講師)
趙 博 (ウリ文化研究所、河合塾英語科講師)



■会場は各校舎サテライト教室